

## 休暇とアメリカの旅

賈 晶淳

教会から頂く夏の1ヶ月の休暇は纏まった貴重な時間でこれまで主に読書に集中してきたが見聞を広げるため旅に出かけることにした。昨年はカナダのバンクーバーをメインに1ヶ月過ごしたが今年はアメリカへ行くことに決め、その上全米を一周することにした。初めての道のため心配事や恐れもあったが期待と好奇心の方が強く振り切って出かけた。ロサンゼルスを起点とし、時計の反対回りの26日間の旅であった。LAX空港でレンタカーを借り総距離約一万マイル(約1万6千Km)、素通りを含め35州を走った。見物のため車を走らせなかった日を除き実際に車を走らせた日で割ると1日平均800キロを走り、一番長く走った日は775マイル(1,240Km)であった。殆どの時間を道で過ごしたことになるが、もともと運転好きで、車の性能も良く(シボレーのマリブ新型)あまり疲れることはなかった。時差3時間の東西と気候の変化を感じさせる南北間を走るのは驚きと共に楽しみであった。不思議だったのはヨセミテの山の中の短い3ヶ所を除き、自分が走ったフリーウェーではトンネルを一つも発見できなかった。幾ら険しい高い山でも峠を越えるのみ。

訪れたところはグランドキャニオン、イエローストーン、ヨセミテ国立公園を始め(この8月は国立公園100周年であった)主な都市を巡り、ニューヨークでは9・11メモリアルパークや国連本部、ウォール街などを地下鉄で移動し、ワシントンではホロコースト記念館やスミソニアン博物館などを見学し、シカゴではソーシャルワークの先駆者であるジェーン・アダムズを記念したハール・ハウスミュージアムを訪ね、そしてミシガン湖畔にあるミルウォーキー美術館の美しさは抜群であった。ここより先に訪ねたニューヨークで道に迷い、入り込んでしまったワールドトレードセンター駅の未完成の姿がこれと似ていることを発見、調べると設計者がどちらもスペインのサンティアゴ・カラトラバという人であることが分かった。その他ハーバード大やボストン大も見物し、ボストンから近いところにあるジョン万次郎のミュージアムや受洗教会などがある町も訪ねることができた。



ウィスコンシン州のミルウォーキー美術館      ヨセミテのハーフドームを背景に(Glacial Point)

無論日曜日には礼拝にも出席、そのうちアトランタ市にあるマーチン・ルーサー・キング牧師が牧会をしていたエベンエゼル・バプテスト教会の礼拝はとても印象深いものであった。

無謀にも見える今回の旅の始まりは還暦を迎えての自分確認でもあった。結果、まだ錆びていない自分発見と共に人間の生きる環境などまだまだ学ばなければならないことの多さに気づき励まされる旅であった。旅路には常に新しい経験と多くの出会いが待っている。健康が支えられる限りにまた一人旅を続けたい。(第210号・2016.9.18.)